

沖縄の

両生類 爬虫類

オキナワアオガエル

ヌマガエル

リュウキュウカジカガエル

オキナワヒメトカゲ

大勉強会

沖縄には、在来のカエルやトカゲなど、多様な両生類・爬虫類が生息しています。しかし、外来種のタイワンハブが本部半島を中心に野生化し、分布を拡大しています。今年8月には、やんばるの世界自然遺産の登録地に近いエリアでも確認されました。本イベントでは、タイワンハブをはじめとする外来ヘビ類が沖縄の在来の両生類・爬虫類に及ぼす影響について考えます。

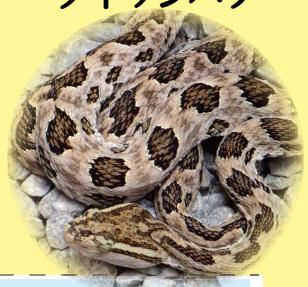
2025年12月14日(日)

12:00~15:00

名護博物館 体験学習室

参加無料
事前申込不要

タイワンハブ



12:00

30

13:00

30

14:00

30

15:00

沖縄の在来両生類・爬虫類の
現状と危機

戸田 守 (琉球大学)

外来ヘビの話

環境省やんばる自然保護官事務所

外来種ワイス!

景品あり・環境省オリジナルグッズ

外来ヘビ被害者の集い
(沖縄の在来両生類・爬虫類の観察コーナー)
(一財) 沖縄美ら島財団



お問い合わせ先

一般財団法人沖縄県環境科学センター (請負者)
TEL: 098-875-5208

担当: 當間、赤嶺、小笠原

E-mail: snake-event@okikanka.or.jp

主催 環境省沖縄奄美自然環境事務所

共催 名護市教育委員会